

NEWS LETTER

2020年11月27日

一般財団法人岩手経済研究所

2020年冬季 岩手県内ボーナス調査について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋真裕）は、定例の「2020年冬季岩手県内ボーナス調査」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

2020年冬季ボーナスの増減予想

「増加」	10.0%	（前年調査比	9.3ポイント減）
「前年並み」	51.0%	（	” 15.4ポイント減）
「減少」	35.1%	（	” 23.2ポイント増）
「支給なし」	4.0%	（	” 1.5ポイント増）

- （注）1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む
3. 「支給なし」は前年に支給があったが、今年の実支給がない場合を指す
4. 四捨五入の関係で合計は100%にならない

本調査の内容は別紙「2020年冬季岩手県内ボーナス調査」のとおりです。また、詳しくは11月30日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究 2020年12月号（No.457）」にも掲載いたします。

2020年11月27日

2020年冬季岩手県内ボーナス調査

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕
(担当 地域経済調査部 佐藤 和孝)
TEL 019-622-1212

＜ 調査結果の要約 ＞

1. 冬季ボーナスアンケート調査

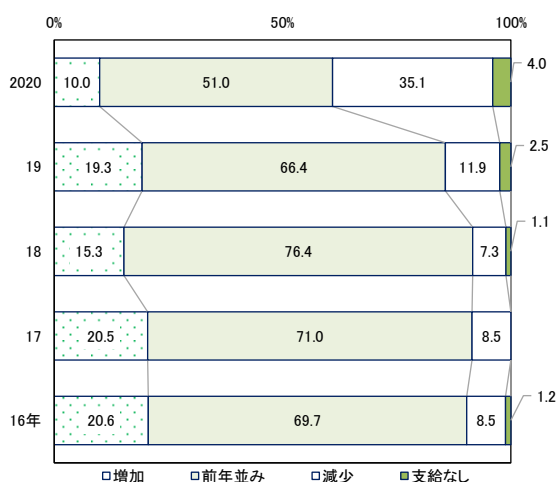
(1) 冬季ボーナスの受取予想 ー 厳しい見通しが続く ー

2020年冬季ボーナスの受取予想は「前年並み」の支給があるとする回答が51.0%（前年調査比15.4ポイント（以下、p）減）で最多となり、次いで「減少」が35.1%（同23.2p増）、「増加」が10.0%（同9.3p減）、「支給なし（※前年は支給あり）」が4.0%（同1.5p増）となった（図表1）。

職業別にみると、民間（会社員）は「前年並み」と「増加」が低下し、「減少」と「支給なし」が上昇した（次頁図表2）。新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響に伴う景気後退などを反映して、前回（20年夏季）調査では「減少」と「支給なし」を合わせた割合が30.3%（前年調査比17.7p増）に急伸し、今回も35.2%（同15.4%増）と厳しい見通しが続いた。

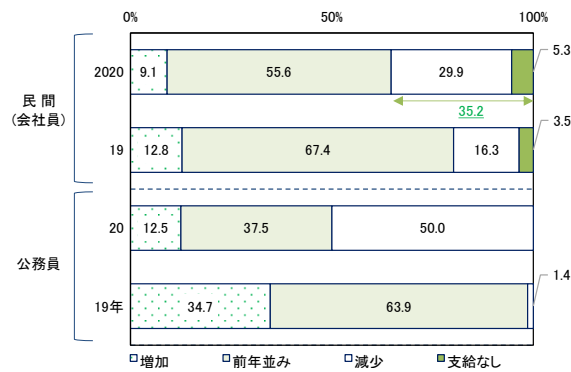
公務員は「減少」が半分を占めるなど民間より低調な予想となった。これは、新型コロナの影響で人事院勧告の実施が例年の8月から10月に繰下げとなり、その中で国家公務員のボーナス支給率（月数）が引き下げられたことなどから、調査期間（10月上旬～中旬）に弱気な予想が増加したためと考えられる。しかし、その後の県人事委員会の報告では本県職員の支給率が据え置きとなったことなどから、実際の「減少」の割合は縮小するものと推察される。

図表1 冬季ボーナスの増減予想（全体、2016～20年）



- (注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む
 3. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

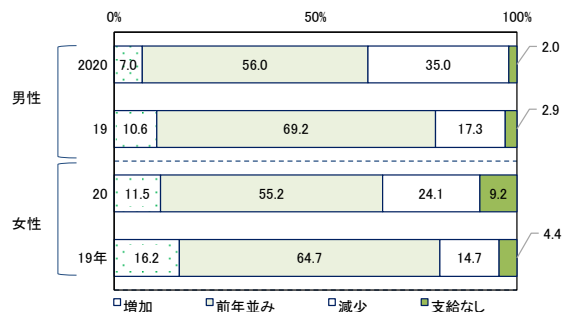
図表2 冬季ボーナスの増減予想（職業別、2019、20年）



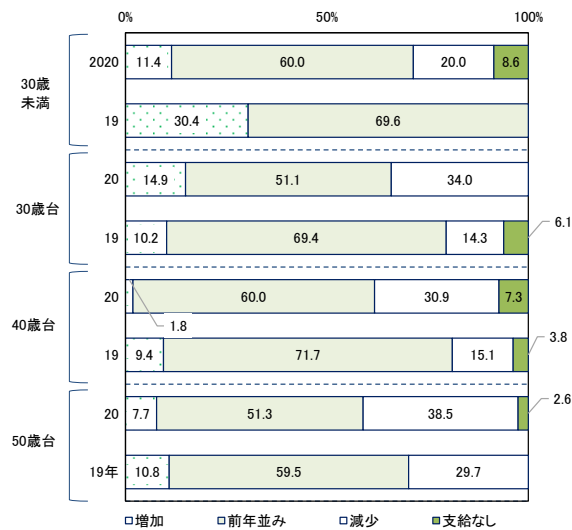
(注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む

参考 民間・冬季ボーナスの増減予想（性別・年齢階級別、2019、20年）

■性別



■年齢階級別



(注) 1. 2年連続で支給がない回答者を除く構成比
 2. 「増加」は新卒者など前年の支給がなかった場合を含む
 3. 60歳以上は回答者が少ないため省略する
 4. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

(2) 使途 — レジャーには慎重な姿勢 —

ボーナス支給があると予想した回答者（民間、公務員）にその使途を「消費」「返済」「貯蓄・投資」に金額ベースで分配してもらった。

これによると全体では「貯蓄・投資」が44.7%（前年調査比3.1p増）で最も多く、次いで「消費」が35.9%（同2.4p減）、「返済」が19.4%（同0.7p減）と、「消費」のマイナス分を「貯蓄・投資」が吸収する形となった（図表3）。

「消費」では、自粛ムードの落ち着きや小売店や飲食店等で感染防止に配慮した営業が定着していることなどを反映して、買い物や交際費は前年並みの割合を維持した一方、レジャーは2%台に低下し、性別、独身・既婚別でもすべての層で前年を下回るなど、Go Toトラベルをはじめ様々な需要喚起策が講じられるなかにあっても、旅行などに対してはやや慎重さが窺える結果となった。

図表3 冬季ボーナスの使途

単位：%、p

	全体			性別				独身・既婚別			
	前年比	△	※参考	男性		女性		独身		既婚	
			(20年 夏季)	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
消費 ↓	35.9	△ 2.4	(32.7)	36.9	△ 3.7	34.1	0.2	31.7	△ 5.3	37.2	△ 1.5
買い物	13.3	0.8	(12.1)	13.7	0.2	12.6	2.0	14.2	△ 1.9	13.0	1.4
レジャー	2.7	△ 3.7	(2.2)	3.0	△ 2.9	2.1	△ 5.2	4.3	△ 2.0	2.2	△ 4.2
交際費	3.1	0.1	(2.7)	3.0	△ 0.1	3.3	0.7	4.1	1.0	2.8	△ 0.1
教育費	7.5	△ 0.6	(8.0)	7.8	△ 0.5	6.9	△ 0.8	1.8	△ 2.8	9.1	0.1
その他	9.4	1.0	(7.7)	9.4	△ 0.3	9.2	3.5	7.2	0.2	10.0	1.3
返済 ↓	19.4	△ 0.7	(21.5)	23.7	1.4	11.2	△ 4.4	16.1	2.9	20.3	△ 1.5
住宅	8.2	△ 1.5	(8.2)	11.6	0.1	1.6	△ 4.3	1.7	0.4	10.1	△ 1.7
自動車	3.1	△ 1.5	(4.4)	3.4	△ 2.1	2.5	△ 0.3	3.0	△ 3.1	3.1	△ 1.1
教育	1.5	0.6	(0.5)	1.2	0.7	2.0	0.5	0.1	△ 1.6	1.9	1.3
クレジット	3.8	1.1	(4.9)	4.2	1.5	3.2	0.4	6.9	4.8	2.9	0.0
その他	2.8	0.6	(3.5)	3.4	1.4	1.8	△ 0.7	4.4	2.4	2.3	0.0
貯蓄・投資 ↑	44.7	3.1	(45.8)	39.3	2.2	54.8	4.2	52.2	2.5	42.5	2.9

(注) 1. 回答者の支給予想額の合計を100%とした構成比
2. 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある

2. 冬季ボーナス支給額推計 －支給総額はマイナス予想－

当研究所では県の「毎月勤労統計調査」などの各種統計を基に 2020 年冬季ボーナス支給総額の推計を行った。

推計の結果、民間（会社員）と公務員を合わせた支給総額は 1,177 億 7,200 万円で前年比 8.4%減の見通しとなった（図表 4、5）。

民間は同 11.1%減となった。夏季の時点では新型コロナの悪影響をボーナスに反映できなかった企業を含め、業況の悪化が顕在化している企業では業績に連動して支給内容を下方に見直す動きが加速する可能性が高まることから、1 割程度のマイナスを予想する。

公務員も同 0.9%減と、県職員の支給率（月数）は据え置きとなったものの、国家公務員がマイナス改定となったことなどから、小幅ながら減少するとみられる。

また、20 年は民間、公務員を合わせると夏季（前年比 6.1%減）、冬季（同 8.4%減）ともマイナス予想となったため、年間支給総額も前年比 7.3%減と過去 5 年で最も低調な見通しとなった。

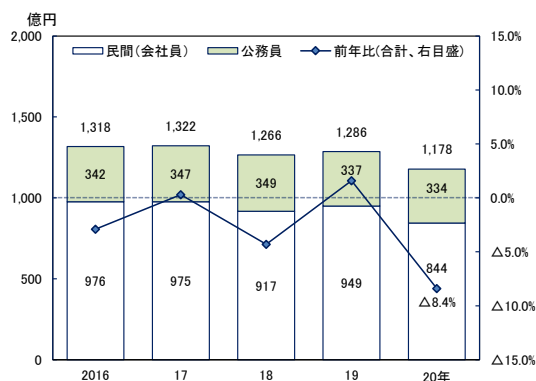
図表 4 冬季ボーナス支給総額の推計結果

単位：百万円、%			
	合計	民間 (会社員)	公務員
2020	117,772	84,419	33,353
前年比	△ 8.4	△ 11.1	△ 0.9
19	128,576	94,923	33,653
前年比	1.6	3.5	△ 3.4
18 年	126,560	91,706	34,854
前年比	△ 4.3	△ 6.0	0.5

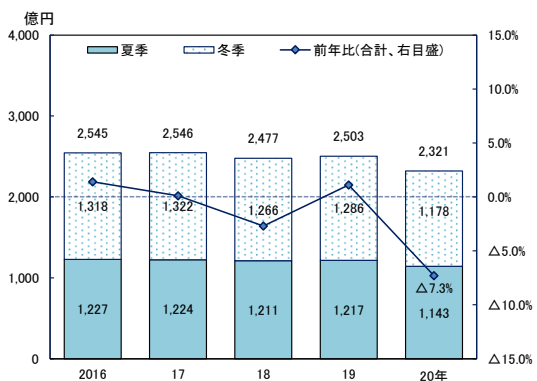
(注) 経年分は推計に用いる指標の更新等に伴い再計算した

図表 5 ボーナス推計支給総額の推移

■ 冬季支給総額（民間＋公務員）



■ 年間支給総額（全体、夏季＋冬季）



(注) 経年分は推計に用いる指標の更新等に伴い再計算した

＜ 調 査 要 領 ＞

1. 調査内容

県内の給与所得者における 2020 年冬季ボーナスの支給見通しや使途など

2. 調査期間

2020 年 10 月

3. 調査対象者

県内の給与所得者

4. 調査方法

直接配布、郵送回答

5. 回答者数

273 人 （配布部数 700 部 回収率 39.0%）

6. 回答者属性

		回答者数	構成比	平均年齢
		人	%	歳
全 体		273	100.0	42.4
性 別	男 性	151	55.3	42.6
	女 性	122	44.7	42.0
職 業 別	民間(会社員)	209	76.6	42.0
	公務員	64	23.4	43.6
独 身・ 既 婚 別	独 身	75	27.5	34.9
	既 婚	198	72.5	45.2
年 階 級 別	30 歳 未 満	45	16.5	-
	30 歳 台	62	22.7	-
	40 歳 台	86	31.5	-
	50 歳 台	60	22.0	-
	60 歳 以 上	20	7.3	-